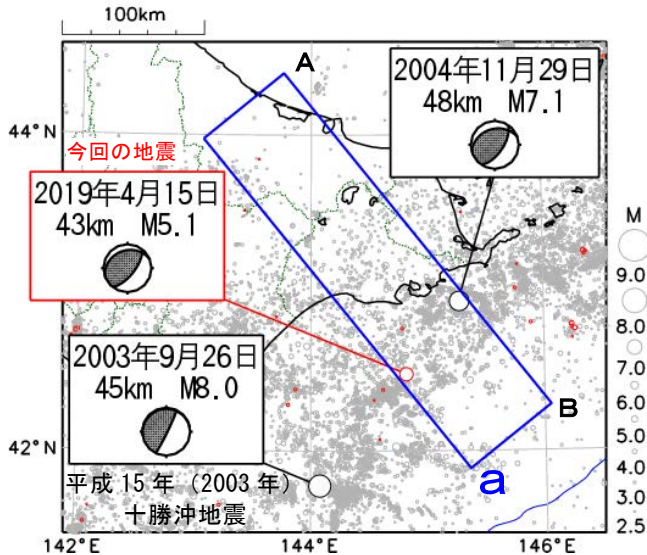


4 月 15 日 釧路沖の地震

震央分布図
(2001 年 10 月 1 日～2019 年 4 月 30 日、
深さ 0～200km、 $M \geq 2.5$)
2019 年 4 月の地震を赤く表示
図中の発震機構は CMT 解

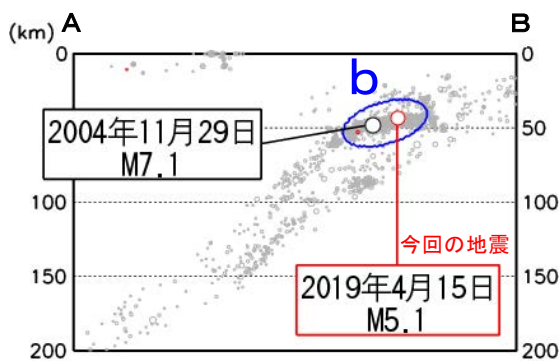


2019年4月15日05時28分に釧路沖の深さ43kmでM5.1の地震 (最大震度3) が発生した。この地震は発震機構 (CMT解) が北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

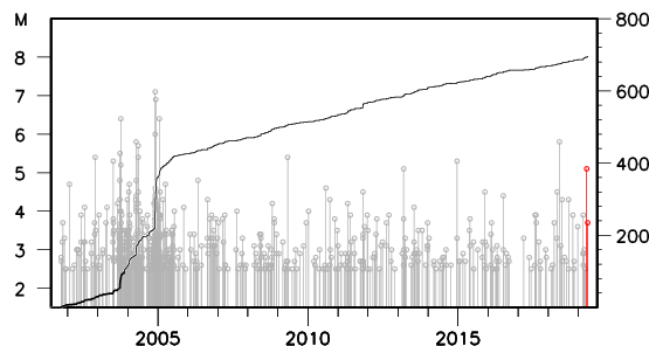
2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、M5.0以上の地震が時々発生している。最大規模の地震は2004年11月29日に発生したM7.1の地震 (最大震度5強) で、根室市花咲で12cmの津波を観測した。この地震により、負傷者52人、住家被害5棟などの被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。

1922 年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、M6.0 以上の地震がしばしば発生している。2003 年 9 月 26 日の「平成 15 年 (2003 年) 十勝沖地震」 (M8.0、最大震度6弱) では、十勝港で255cmの津波を観測するなど、北海道から四国の太平洋沿岸で津波を観測した。この地震により、北海道では死者1人、行方不明者1人、負傷者847人、住家被害2,065棟などの被害が生じた (「理科年表」による)。

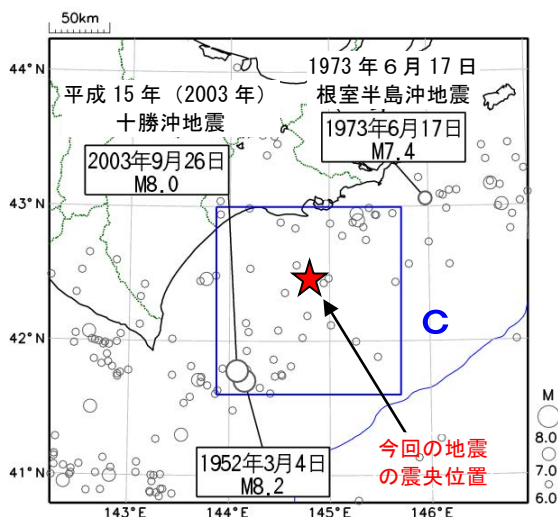
領域 a 内の断面図 (A－B 投影)



領域 b 内の M－T 図及び回数積算図



震央分布図
(1922 年 1 月 1 日～2019 年 4 月 30 日、
深さ 0～100km、 $M \geq 6.0$)



領域 c 内の M－T 図

